

### 県測量設計コンサルタンツ協会

## 10社が大工高で出前講座

### 電子平板やトラバースなど

(一社)長崎県測量設計コンサルタンツ協会(吉川國夫会長)が9日と10日の2日間、



川崎技術委員長

県立大村工業高等学校で出前講座を実施した。会員10社が建設工業科1〜3年生延べ115人を指導。うち、就職や進学を決めた3年生に対しては、電子平板を用いた細部測量を通して実務へ取り組む姿勢なども教えた。協会は各学年に対し、▽電子レベルおよ



会員10社が指導

び自動レベルを用いた水準測量(1年生)▽トラバース測量・GNSS測量(2年生)▽電子平板を用いた細部測量(3年生)一を実施した。9日、3年生

に対して協会技術委員会の川崎守委員長が、「本日は皆さんと一緒に地図を作りたいと思います。地図は生活に欠かせないもの。これから先、例えば皆さんが違ふ分野に行つたとしても、地図や建物を見た時にこの活動・仕事を思い出してくれたら嬉しいですよ」と呼び掛けた。

は寒さをしのぎながら黙々と作業を遂行。時折、会員とのコミュニケーションに笑顔を見せながらも、鋭い眼差しでTSを覗き込み、建物や暗渠などを一つ一つ丁寧に測つた。また、測定データが電子平板に反映されると、精度と速さに驚きながらも操作方法を積極的に質問する姿も見られた。



生徒(右)に電子平板の使い方伝授

一つ丁寧に測つた。また、測定データが電子平板に反映されると、精度と速さに驚きながらも操作方法を積極的に質問する姿も見られた。会員らも生徒に伝えるよう、電子平板の仕組みや測量のコツ、声掛けやチームワークの大切さを指導。生徒からは、「先生より分かりやすい」「分からないうちに教えてくださって楽しくかつた」「先輩(同



生徒代表の細田さん

科卒業生)の話が聞けてよかつた」などの感想が出た。約3時間の作業終了後、生徒を代表して細田凌生さんが、「今回学んだことを生かして就職してからも頑張っていきたいと思ひます。本日はありがとうございました」と力強く述べた。